

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第7回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

なし

（2）協議（公開）

自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

- ・「(仮称) さとまるバスの運行による検証事業」について
- ・「子どもの い〜場所開設事業」について
- ・視察研修の行先について

（3）その他（公開）

- ・4区合同研修会について
- ・中学生ワークショップへの参観について

3 開催日時

令和6年10月28日（月） 午後6時から午後6時55分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、尾崎公子、桐山和樹、高橋達也、竹内昭彦、松岡聖江、陸川昇一、欠席5名
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長、丸山市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、早川地域振興班長、

津島地域振興班主事、恩田総務班長、渡部税・市民生活班長、
桐山福祉班長（以下、グループ長はG長と表記。）

8 発言の内容（要旨）

【早川班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

今日の会議は欠席が多いため、次回改めて曜日や時間帯の希望を確認する。

会議録確認を竹内昭彦委員と陸川昇一委員に依頼。

報告事項はあるか。（なし）

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、地域協議会が提案した地域独自の予算事業2件のうち、最初に「（仮称）さとまるバスの運行による検証事業」について、事務局に説明を求める。

【早川班長】

資料 No1 に基づき説明。

【竹内（靖）会長】

今ほどの事務局の説明の通り、中郷区まちづくり振興会、中郷区さとまる学校、総合事務所でルートの検討を進めている。今後、検討事項の進捗に合わせて検討委員会の開催頻度を増やす。3者で連携をとりながら、話をぶらさずに進めていく。町内会長や民生委員児童委員に令和7年度以降の公共交通について周知する段階に来ている。各会議での説明や周知用チラシを作成する。車はリース契約を進めている。運転手の募集もかけており、11月の交通空白地有償運送等運転者講習の受講に向けて、運転手の増員を目指している。県への交通空白地有償運送登録手続きに向けて、準備を進めていかなければならない。第2回目の（仮称）さとまるバスの検証運行は、12月の年金支給日以降に行う予定で検討を進めたい。12月になり検証運行のルート等が決まったら委員の皆さんにも共有しながら進めていく。委員の皆さんに意見を求める場面があると思うが、協力いただきたい。

【高橋委員】

検証運行の回数がこれで良いのか気になる。どのように進めていくか、中郷区まちづくり振興会とさとまる学校の打ち合わせを密にやるべきでないか。今後は住民への周知が大切になる。丁寧な説明、細やかな周知がされるよう、進めていただきたい。

【竹内（靖）会長】

検証運行については、最初の呼びかけで集まった人に協力していただくものであり、再度ふりだしに戻るものではない。周知については、町内会長や民生委員児童委員にまず会合のスケジュールを確認して説明に出向いたうえで、検証運行に協力いただきカルテを作成した令和7年度に実際に利用する方を中心に話をしていきたい。

次に、もう1つの地域独自の予算提案事業「子どものい～場所開設事業」について、事務局に説明を求める。

【早川班長】

資料 No2-1、2-2、2-3 に基づき説明。

【陸川（昇）委員】

（中郷区まちづくり振興会理事の立場で）自主的に遊んでいる子どもが多い。見守りに一緒に遊んでほしいと声をかけてくる子もいるが、上手くやっていくしかないと思っている。

【竹内（靖）会長】

見守り者は中郷区まちづくり振興会事務局の知り合いとなっており、女性が多く、マンパワーが必要だと意見が出ている。資料 No2-3 の第2回開催日の意見のうち、「見守りに男の人がいるといいと思った」という意見について補足を求める。

【早川班長】

中郷区まちづくり振興会に確認したところ、体力が必要な遊びの補助が出来るため、男の人がいるといいとのことであった。

【竹内（靖）会長】

子どもが自由に遊べる状況にあることから、女性だけの対応では大変なのかもしれない。男の人でも、体力のある人でなければ、バランスがとれない。

【陸川（昇）委員】

（中郷区まちづくり振興会理事の立場で）子どもたちは自由に楽しく遊んでおり、飽きても違う遊びを始めていることから、見守り者が声を出すべきではないと思っている。ただ、1人ではフォローしていきたい。総合体育館での開催の時に、一斉に子どもが集まってしまい卓球をする道具が足りなくなってしまったが、順番にやってもらうしか仕方がない。

【竹内（靖）会長】

これから冬になり心配事も出てくるが、見守り者の人手が増えるようにしていきたい。実施1回ごとに事務局と打ち合わせをしているのか。

【陸川（昇）委員】

(中郷区まちづくり振興会理事の立場で) 1 回ごとに打ち合わせをしている。

11 月の開催日は 2 日あり、4 時間半に渡る開催となる。水分補給やお腹が空いてしまうことが懸念されるが、様子を見ていきたい。

【竹内（靖）会長】

食事を取り入れると新たな問題が出てしまうため、取り入れない方向性はぶれてはならない。一度申し込みをしても、申し込みをしたかどうか忘れてしまうという声も聞かれることから、保護者との連絡を密に取りながら進めていただきたい。協力できることがあれば声をかけてほしい。

【尾崎委員】

10 月の開催日に少しだけ様子を見に行った。大人と子どもが一緒になって遊んでいる姿が良いと思った。それぞれの遊びをしているのが良かった。子どもたちが自分たちでルールを考えて遊んでいる姿を見ることができ、良い取り組みだと思っている。機会を見て見守りに参加したい。

【陸川（昇）委員】

(中郷区まちづくり振興会理事の立場で)1 回目のときは片貝生涯学習センター入口に荷物があることが遊びの邪魔になったが、2 回目は中郷総合体育館で会場が広く、1 回目と同様に入口に荷物を置いてしまっていたが邪魔にはなっていなかった。勉強するために机のある部屋を解放したが、利用はなかった。総合体育館に空気が十分に入ったバスケットボールが 1 つしかなかった。遊べるものが整備されていると、遊びのバリエーションも増えると思う。空気が入っていなかったボールも状態を確認して、空気を入れてあげることも考えたい。

【竹内（靖）会長】

今は居場所開設の需要を検証している段階であり、学校から居場所までの間を移送しているが、近い将来は、下校時に子どもたちが自分たちで寄って遊び、大人がそれを見守る場所が出来ることが理想である。そんな理想も視野に入れながら、子どもと保護者の声を聴いていきたい。

【高橋委員】

保護者から開設時間に関する意見はなかったのか。開設時間の延長を視野に入れなければならないようになる可能性があるのではないか。開設時間の長さは保護者の迎えの可否にも関することだと考える。体制や遊具は順次整えていくしかない。子どもの自由な発想で遊んでもらうためにも、遊具はある程度用意するべきである。

【竹内（靖）会長】

開設時間の延長は、放課後児童クラブとの線引きを考えなければいけないことでもあることから、意見を聞きつつ、確認しながら検討していきたい。

次に、視察研修の行先についてに移る。正副会長、事務局と相談し、長野県千曲市に決めた。視察時間帯の調整の兼ね合いもあるが、子どもの居場所について協議を進めるのにあたって、身近な参考となる場所ということで決めた。実施日は12月2日（月）に決めさせていただきたい。視察先の開設時間に合わせ午後3時30分に集合し、出発したい。都合をつけて参加させていただきたい。終了後は意見交換を行わず、別日に設定する。

【早川班長】

資料 No3 の内容は、先方と協議の上、多少時間が変更になる可能性があることを承知いただきたい。正式な案内は後日提示する。

【竹内（靖）会長】

欠席の委員には改めて連絡する。

【高橋委員】

視察先の運営者は完全に民営なのか、行政が絡んでいるのか知りたい。

【早川班長】

オレンジファムは一般社団法人であるが、行政との関係は確認して改めて連絡する。

【高橋委員】

予算面での行政との関係を改めて教えていただきたい。

【早川班長】

確認して改めて連絡する。

【竹内（靖）会長】

オレンジファムのホームページもあるため、そちらも確認いただきたい。事務局に調整してもらい、夕方からの開催のため、都合をつけて参加させていただきたい。

（遅れて出席となった桐山委員に）「子どもの い～場所開設事業」について、意見はあるか。

【桐山委員】

自分の子どもも喜んで参加しており、次年度以降も続けていけたらと思う。

【竹内（靖）会長】

本日の協議は以上である。

その他に移る。初めに、4区合同研修会について事務局に説明を求める。

【早川班長】

資料 No4 に基づき説明。

【竹内（靖）会長】

各区の活動報告は、事務局と相談し、地域活性化の方向性から議論を進めていることを中心に報告する。出欠を今日中に事務局に報告していただきたい。

次に中学生のワークショップについて、これまでの経緯と内容の説明を求める。

【加藤次長】

創造行政研究所が行う持続可能な地区別まちづくり支援事業として、レゴブロックを使ったワークショップを中郷中学校で開催しないかと声かけがあった。地域の子どもが中心になり、将来の地域の姿を表現するため、ワークショップを開催するものである。目的は、①まちづくりに対し、将来の主役である子どもたちの参画を促すとともに、子どもたちの活動やアイデアからの刺激により、地域におけるまちづくりの機運醸成を図る、②その実現に向けたまちづくりを自分事として捉え、子どもと大人の協働により進めることによって、最終的に「あの時考えた未来が本当になった」という状態を目指し、次世代に向けたまちづくりの礎とするという2点である。11月22日（金）に開催する。開催日まで中学校、中郷区さとまる学校、創造行政研究所で調整を進めていく。

【竹内（靖）会長】

（中郷区さとまる学校理事長の立場で）11月22日（金）の午前2時間、午後1時間の授業の中で行われる。中郷中学校2年生を対象に、設定されたテーマを選択し、班別に分かれて行う予定。地域協議会委員からも参観に来ていただくことを考えている。また、学校や行政と相談のもと、地域協議会委員も中に入って行うことになる可能性がある。このワークショップは、昨年度地域協議会が創造行政研究所から研修を受けたことから繋がって、声をかけていただいている。出来るだけ委員にも参加いただきたい。ワークショップで完成した物は、青少年育成協議会のまちづくりワークショップで生徒が発表する場を設ける。中郷区の課題に沿ったテーマ設定とする予定。テーマが決まった時に委員からも意見を聞きたいと考えている。細かい詳細は後日連絡する。

【高橋委員】

ぜひ参加したいと思う。

【竹内（靖）会長】

私自身はレゴブロックでどのように作成するのかイメージが湧かないが進行に慣れている上越市創造行政研究所と打ち合わせながら進めていく。

【加藤次長】

（非公開資料を追加配付して）ワークショップで使うテーマ案を配付した。創造行政研究所から初案の提示があったが、中郷区らしさを出したいという思いの

もと総合事務所から修正提案した。総合事務所からのテーマ案を創造行政研究所が確認し、中学生にも分かりやすい言い回しに変えたものも資料に記載している。ワークショップに参加する地域協議会委員には、この資料を読み込んでいただき、委員の皆さんが考える未来の中郷の姿への思いを中学生に語っていただけると良いと考えている。決定した資料ではないが、方向性として示した。

【竹内（靖）会長】

近々中郷区さとまる学校、総合事務所、創造行政研究所と相談のうえ、参観案内をする。

次第の協議事項は以上だが、出席の職員から連絡はあるか。

【加藤次長】

子どものい〜場所開設事業の協議の中で陸川（昇）委員から発言のあった遊具の不足について、不備があり申し訳ない。次回までに片貝生涯学習センター、総合体育館の物品を確認し、求めに応じて使えるように準備を進める。

視察についての協議の中で高橋委員から質問のあったオレンジファムの運営状況は、報道資料では運営状況や収支については確認できない。視察までに知りたい情報をはじめ、事前確認や当日の質問事項を取りまとめる必要がある場合は、この後意見をいただきたい。

【高橋委員】

運営にあたって予算がどうなっているのか、補助金を活用しているのか知りたい。

【竹内（靖）会長】

収支については聞ける範囲で確認いただきたい。私からは参加費と職員賃金がどのように賄われているのかを知りたい。

【加藤次長】

ホームページを確認すると、フリースクールは月謝制となっている。また、千曲市の事業として、「子どもの居場所づくり支援事業」があり、事業開始時に備品購入経費の交付や講座開催1回ごとの交付金といった支援制度を設けているようである。このようなものも活用しているのだろうと想像できる。

【竹内（靖）会長】

この他確認したいことはあるか。（なし）子どもの居場所や子ども食堂は世間としても注目されている。調べられる範囲で確認いただきたい。

次回の地域協議会は、11月25日（月）が定例だが、出欠確認を行い、欠席が多いようであれば改めて設定することとする。話し合いは積み重ねであり、次年度予算に関係する大切な時期であることから、都合をつけて参加いただきたい。

この後、勉強会を行う。

【早川班長】

配付物の確認。

【竹内（靖）会長】

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。